



2011～2012 年度
国際ロータリー会長

カルヤン・パネルジー

Weekly Report Niigata



心の中をみつめよう
博愛を広げるために

2011～12 年度 国際ロータリーのテーマ



2011～2012 年度
新潟ロータリー会長

佐藤 紳一

新潟 RC 11月第1例会 (2011.11.1) No.2919

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 佐藤 紳一会長挨拶

「羊羹の由来」

霜月に入り朝晩めっきり寒くなってきました。寒くなると熱いお茶と和菓子ということになりますので、羊羹の由来を話してみます。海外より伝来の食が国内において改良を重ね、今日、菓子の形で生活文化として根付いているものとして肥前小城の羊羹があげられます。

羊の肉のスープであった羊羹は司馬遷の「史記」にもとりあげられ、大変なご馳走であったことが記されています。室町時代の包丁問書には四十八羹のことが記されており、この時代に肉食習慣のない日本において、植物性材料の羹が次々と創作され、次第に固形物になり、蒸し羊羹の形ができあがったと言われています。(豆抄糕(とうしょうこう)という中国の小豆菓子が羊羹の原型であるという説もあります)京都にて蒸し羊羹である紅羊羹が豊臣の命により作られたとの説もあり、甘い蒸し羊羹は夏目漱石の「草枕」の時代まで長い間羊羹の主流であったと予測されます。

寛政元年(1789～1800)に江戸日本橋の喜多朗あるいは紅尾志津摩が創案したといわれる煉り羊羹は直火を使った画期的な羊羹であり、日持ちがよく品格ある味わいは江戸から全国に伝わり、19世紀の日本で好評を博しました。山東京山は「蜘蛛の糸巻」の中で「日光なるは江戸に優れり」と、19世紀ごろには日光の煉り羊羹が江戸を上回っていたことを記しています。

日光も江戸や京都と同様様々な条件が整いすばらしい羊羹が成立しましたが、京菓子といわれる程の菓子の本場京都の成立要因を考えると、小城が羊羹のふるさとといわれる由縁がうかがい知れます。

1. 周囲に適当な郊村がある。
2. 良水に恵まれている。
3. 御所など宮家の家がある。
4. 宗教都市で立派な本山があり、大きな行事や恒例の種々の行事がある。
5. 茶道が行われ千家他家元が存在する。
6. 洛中洛外に名所旧跡が多く、古くからの観光都市である。

小城はほとんどこれらの条件を満たしており、さらに富国強

兵の明治大正時代には東に久留米の陸軍、西に佐世保の海軍があり、携帯食としてキャラメルとともに羊羹は軍用品として需要が大であった。

(九州の朝鮮文化という本を参考にした。平成 21 年 11 月号「石州」より)

(3) 米山奨学生挨拶、奨学金伝達 張 文婷さん

(4) 委員会報告

・柴田 史郎ゴルフ同好会会長

ゴルフ同好会が発足して1年少々経ちましたので経過報告を致します。当初は副会長 高橋康隆さん、会計 福地利明さん、幹事 加賀田亮一さん、それに会長の私という4名の役員構成でしたが、現在は幹事に若槻良宏さんと小林建さんに加わって頂いております。50名弱の会員登録があり、クラブコンペに参加頂くのはその半数程度です。発足以来、チャリティコンペのほかにも5回の例会を開催しました。また、懸案であった前橋RCとの親善コンペを、今回初めて10月30日に群馬県赤城ゴルフクラブにおいて開催し、新潟クラブから12名、前橋クラブから18名の参加があり盛会でした。優勝は新潟クラブの若杉 武さん、準優勝は金親頭男さんという結果を得て喜んでおります。スポーツと一緒にやるのは、懇親の実がとて深まると感じました。これからも末永く親善コンペを続けていく予定です。

今後の当同好会の活動に対し、今まで通りの皆様の絶大なるご支援をお願いする次第です。

(5) 幹事報告(高橋 秀松幹事)

- ・東日本大震災被災地クラブ11クラブへお見舞金各8万円を送金しました。2520 地区 大船渡、多賀城、岩沼、名取、2530 地区 福島北、川俣、会津若松城南、浪江、いわき鹿島、郡山北、郡山安積各 RC。本日、返信頂きたいわき常磐 RC へは明日以降送金致します。
- ・浪江 RC の SAA 松本英明さんが新潟市中央区に避難されています。11月22日の例会にご招待いたしましたので、是非、皆様ご出席の上、歓待をお願い致します。
- ・12月20日は石本隆太郎ガバナーの最後の公式訪問日です。夜例会として開催致しますので、是非、ご出席ください。

(6) 会員スピーチ「感染症ポリオ残り1%の戦い」

ロータリー財団委員長 石井 和弘君

